



ホーミー・馬頭琴 梅木秀徳コンサート

ホーミーとは喉歌ともいわれ、歌い手が一人で2種類の声（普通の声と高い声）を同時に出す、モンゴル民謡特有の倍音唱法のことです。

また、モンゴルの民話「スーホの白い馬」で有名な馬頭琴。馬のしっぽの毛を弦と弓に使った楽器の音色は、まるでモンゴル高原を渡る風のように軽やかです。

モンゴル・ホーミー協会からプロの認定を受けている、日本では数少ないホーミー歌手の梅木秀徳さんが八事に来てくださることになりました！！

魂の浄化につながる歌声を、ぜひ体いっぱい浴びに来てください！

日時：2017年6月28日（水）

19：00～21：00

場所：イベント&カフェ ポップコーン

昭和区広路町石坂38-2

早川ビル2F

参加費：4000円

1ドリンク&軽食付き

お申込：香り考房アйдーマ

TEL/FAX 052-836-2314

e-mail info@aidma-aroma.com



◆梅木 秀徳(うめぎ ひでのり) プロフィール◆

1977年岩手県陸前高田市生まれ。

98年、子どもの頃から憧れていたモンゴルに初めて渡り、伝統楽器・馬頭琴を手にしたことをきっかけに、モンゴルの音楽のとりこになる。

モンゴルのホーミー指導の第一人者バートル・オドスレーン氏に素質を認められ同氏の熱心な指導の下、ホーミーを修得。モンゴルホーミー協会からプロフェッショナル・ホーミー歌手の認定を受ける。03年9月、西モンゴル・ホブド県にて開催された、ホーミーフェスティバルにて特別賞を受賞。また、モンゴル北面隣、シベリアのトゥバ共和国の喉歌ホーメイや

アルタイ共和国の喉歌カイの演奏にも力を入れ、当地を数度にわたって訪れ、修行する。

現在もモンゴルやシベリアの地を訪れながら、修行を試みプロのホーミー、馬頭琴の演奏者として全国的に活動している。